

| | | | |
|-----|-------------------|------|----------------|
| 科目名 | 衣装製作Ⅱ | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター | 期 | 通年 |
| コース | オートクチュールコース舞台衣装専攻 | | 昼間 |
| 学年 | 3年 | 授業形態 | 講義30 % 実習 70 % |
| 時間数 | 240 | 作成者 | 川上須賀代 |

【科目の到達目標】

知識や技術に加え、演出家やクライアントの伝えたい意図を理解し、つくりあげたい世界観を読み解く理解力を習得する。

【科目の概要】

2年で学んだ基礎を発展させる。技法については、舞台映えするためのシルエット、装飾の作り方などを実践指導する。また、異業種別衣装考察により、機能を必要とする身体の部位を把握、パターン、縫製に落とし込んでいく。

【授業計画】

| 90分/コマ | 前期 | 後期 |
|--------|---------------------|---------------------------|
| 1・2 | 舞台衣装概論 Ⅱ－① | 1 衣装3D表現論(パニエ) Ⅱ－① |
| 3 | 創造的問題解決論 Ⅱ－① | 2 基礎実習(パニエ) Ⅱ－① |
| 4 | 舞台衣装概論(実践実習振り返り) | 3・4 基礎実習(パターン作成) Ⅱ－② |
| 5・6 | 衣装分析(異業界別)・メンテナンス技法 | 5・6 基礎実習(パターン作成) Ⅱ－③ |
| 7・8 | 基礎実習(コルセット) Ⅱ－① | 7・8 基礎実習(裁断) Ⅱ－④ |
| 9・10 | 基礎実習(パターン作成) Ⅱ－② | 9・10 基礎実習(裁断) Ⅱ－⑤ |
| 11・12 | 基礎実習(パターン作成) Ⅱ－③ | 11・12 実践実習(縫製) Ⅱ－⑥ |
| 13・14 | 基礎実習(仮縫い) Ⅱ－④ | 13・14 基礎実習(縫製) Ⅱ－⑦ |
| 15・16 | 基礎実習・講義(再チェック) Ⅱ－⑤ | 15・16 基礎実習(縫製) Ⅱ－⑧ |
| 17・18 | 基礎実習(縫製) Ⅱ－⑥ | 17・18 基礎実習(縫製) Ⅱ－⑨ |
| 19・20 | 基礎実習(縫製) Ⅱ－⑦ | 19・20 基礎実習(縫製) Ⅱ－⑩ |
| 21・22 | 基礎実習(縫製) Ⅱ－⑧ | 21・22 基礎実習(縫製) Ⅱ－11 |
| 23・24 | 基礎実習(縫製) Ⅱ－⑨ | 23・24 基礎実習(音からの想像・装飾) Ⅱ－① |
| 25・26 | 基礎実習(縫製) Ⅱ－⑩ | 25・26 基礎実習(パターン作成) Ⅱ－② |
| 27・28 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)サイズ読み取り | 27・28 基礎実習(パターン作成) Ⅱ－③ |
| 29・30 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)パターン作成 | 29・30 基礎実習(裁断) Ⅱ－④ |
| 31・32 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)パターン作成 | 31・32 基礎実習(裁断) Ⅱ－⑤ |
| 33・34 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)パターン作成 | 33・34 基礎実習(縫製) Ⅱ－⑥ |
| 35・36 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)パターン作成 | 35・36 基礎実習(縫製) Ⅱ－⑦ |
| 37・38 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)トワル作成 | 37・38 基礎実習(縫製) Ⅱ－⑧ |
| 39・40 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)トワル補正 | 39・40 基礎実習(縫製) Ⅱ－⑨ |
| 41・42 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)パターン修正 | 41・42 基礎実習(縫製) Ⅱ－⑩ |
| 43・44 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)縫製 | 43・44 実践実習Ⅱ(外部コラボ)サイズ読み取り |
| 45・46 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)縫製 | 45・46 実践実習Ⅱ(外部コラボ)サイズ読み取り |
| 47・48 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)縫製 | 47・48 実践実習Ⅱ(外部コラボ)パターン作成 |
| 49・50 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)縫製 | 49・50 実践実習Ⅱ(外部コラボ)トワルチェック |
| 51・52 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)縫製 | 51・52 実践実習Ⅱ(外部コラボ)縫製 |
| 53・54 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)縫製 | 53・54 実践実習Ⅱ(外部コラボ)縫製 |
| 55・56 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)縫製 | 55・56 実践実習Ⅱ(外部コラボ)縫製 |
| 57・58 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)縫製 | 57・58 実践実習Ⅱ(外部コラボ)縫製 |
| 59・60 | 実践実習Ⅱ(外部コラボ)縫製 | 59・60 実践実習Ⅱ(外部コラボ)縫製 |

【成績評価方法】

提出物評価40% (的確な縫製、完成度)
テスト30% 授業態度30%(うちプレゼンテーション10%)

【教科書・参考書】

教員作成のボディース、ドレス、装飾パーツ等
教員作成のプリント

【教材・教具】

筆記用具・メジャー・安全ピン・ペン・製図用具・

| | | | |
|-----|--------------------|------|-----------------|
| 科目名 | RTW技術 | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター | 期 | 通年 |
| コース | オートクチュールコース 舞台衣装専攻 | | 昼間 |
| 学年 | 3 | 授業形態 | 講義 20 % 実習 80 % |
| 時間数 | 120 | 作成者 | 宮田 共子 |

【科目の到達目標】

既製服(Ready to wear)のデザイン・パターン・カッティング・縫製の一貫した知識と技術を修得する。

【科目の概要】

ファッション産業において生産拠点は海外に移行している時代ではあるが、オリジナルデザインの製作技術の伝承は不可欠である。本授業では色々な種類の素材の縫製方法を学び、素材に応じた工業パターンへの展開、縫製工程、縫製仕様の理解を深める。各自の創作性を生かした作品を製作発表する

【授業計画】

| 前期 | | 後期 | | |
|--------|-------------|-------|--------------|-------------------|
| 90分/コマ | | | | |
| 1・2 | プレタポルテ展示会作品 | 31・32 | 上田学園コレクション作品 | |
| 3・4 | ↓ | 33・34 | ↓ | |
| 5・6 | | 35・36 | | |
| 7・8 | | 37・38 | | |
| 9・10 | | 39・40 | | |
| 11・12 | | 41・42 | | |
| 13・14 | | 43・44 | | テーラードジャケット(チェック柄) |
| 15・16 | | 45・46 | | ↓ |
| 17・18 | | 47・48 | | |
| 19・20 | | 49・50 | | |
| 21・22 | | 51・52 | | |
| 23・24 | 53・54 | カットソー | | |
| 25・26 | 55・56 | ↓ | | |
| 27・28 | 57・58 | | | |
| 29・30 | 59・60 | | | |

【成績評価方法】

課題作品10点の評価 60% 期末試験 30 % 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版 オリジナルプリント、実物及び、部分縫い見本
『スカート』『ブラウス』『ワンピース』『パンツ』『ジャケット』『コート』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式、

| | | | |
|-----|--------------------|------|-----------------|
| 科目名 | パターンメイキングⅢ | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター | 期 | 通年 |
| コース | オートクチュールコース 舞台衣装専攻 | | 昼間 |
| 学年 | 3 | 授業形態 | 講義 20 % 実習 80 % |
| 時間数 | 120 | 作成者 | 宮田 共子 |

【科目の到達目標】

基本パターンの製図からダブルウェット工業用パターンを作成。各種アラインパターンを理論的に展開ダブルウェット後、パターン作成まで。規格サイズの理解。既製のサイズ展開の基本知識を養う。
自由に企画・デザインするための形状の知識を培う。

【科目の概要】

基本パターンの製図からダブルウェット工業用パターンを作成。各種アラインパターンを理論的に展開ダブルウェット後、パターン作成まで。基本のアイテムのサイズ展開の方法を習得する。
自由に企画・デザインするためのパターン展開のバリエーションを発想・検証する。

【授業計画】

| 前期 | | 後期 | |
|--------|-----------------------|----------------|-------------------------------------|
| 90分/コマ | | | |
| 1・2 | ●カットソー | 31・32 33・34 | ●デザイン ワンピース |
| 3・4 | ●パターンメイキング概論 | | |
| 5・6 | ●ラッフルブラウス | 35・36 37・38 | ●グレーディング |
| 7・8 | ●身頃の展開とデザイン | | |
| 9・10 | | 39・40 41・42 | ●ジャケット プリンセスライン・肩ダーツ・サイドダーツ・襟折れ奥ダーツ |
| 11・12 | ●マニプレのジャケット | 43・44 | ●サンプル ジャケット |
| 13・14 | | 45・46 | ●メンズ ジャケット |
| 15・16 | ●ラグランスリーブ、きものスリーブ、舟形袖 | | |
| 17・18 | ●マチ付きフードのコート | 47・48 | ●デザインアイテム |
| 19・20 | ●フード | 49・50 | |
| 21・22 | ●スカートの展開とデザイン | 51・52 | ●創作 ドレス |
| 23・24 | | 53・54 | |
| 25・26 | ●ハイネック、裁ち出しカラー | 55・56 | ●デザイン ジャケット |
| 27・28 | | 57・58 | |
| 29・30 | 試験 | 59・60 | 試験 |

【成績評価方法】

課題の評価60%
期末試験の評価30%
授業態度の評価10%

【教科書・参考書】

江副玲子『パターンメイキング』3年 最新版
山路俊美『メンズ製図集抜粋』 相尾純子『グレーディング』 配布プリント

【教材・教具】

実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

| | | | |
|--|------------------|------|-----------------|
| 科目名 | ドレーピング | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 後期 |
| コース | オートクチュールコース舞台衣装専 | | 昼間 |
| 学年 | 3 | 授業形態 | 講義 20 % 実習 80 % |
| 時間数 | 60 | 作成者 | 渡辺杉子 |
| 【科目の到達目標】 | | | |
| ドレーピングによる衣服の立体的な把握、新しさと美しさを兼ね備えた商品作りのためのトワールを作成できる人材。 | | | |
| 【科目の概要】 | | | |
| 平面製図、CAD等パターンメイキングの手法が多様化する中で、素材の特性を感じながら実際にデザインをボディ上で形にする経験はとても重要である。ドレーピングにより、新しさと美しさを兼ね備えたトワールを作成し、プレゼンテーションする。 | | | |
| 【授業計画】 | | | |
| 90分/コマ | | | |
| 1・2 | ●バックにフリルのついたスカート | | |
| 3・4 | | | |
| 5・6 | ●ビスチェ | | |
| 7・8 | | | |
| 9・10 | | | |
| 11・12 | ●ドレープ襟コート | | |
| 13・14 | | | |
| 15・16 | ●ギャザーのブラウス | | |
| 17・18 | | | |
| 19・20 | ●ジャケット(3面体) | | |
| 21・22 | | | |
| 23・24 | | | |
| 25・26 | ●ロングドレス | | |
| 27・28 | | | |
| 29・30 | 後期試験 | | |
| 【成績評価方法】 | | | |
| 課題作品評価 60%・・・評価シートによる 期末試験 30% 授業態度 10 % | | | |
| 【教科書・参考書】 | | | |
| 江副玲子『ドレーピング3年』最新版□ | | | |
| 【教材・教具】 | | | |
| 実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等 | | | |

| | | | |
|-----|-------------------|------|---------------|
| 科目名 | 衣装デザインⅡ | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 通年 |
| コース | オートクチュールコース舞台衣装専攻 | | 昼間 |
| 学年 | 3 | 授業形態 | 講義 20% 実習 80% |
| 時間数 | 120 | 作成者 | 於保 可那子 |

【科目の到達目標】

クライアントの意図を読み取り、デザインを提案、イメージをきちんと可視化し伝えることができるようになる。グループワークでは自分での役割をしっかり把握し、チームワークでの作業でコミュニケーション力を上げる。スケジュールを常に意識。時間感覚を身につけ、その中でできるハイクオリティとは何かを考察し、まとめあげる習慣をつける。

【科目の概要】

伝統を守りながらも、新しさが要求されるエンターテインメントの世界で何を残し、新たなクリエイションを加えるかを考える。ただし、リアルな現場での実践的実習になるので、クライアントの求めるものを読み取る力、時間内・予算内に収めるために工夫し、アイデアを出すことができるように指導していく。

【授業計画】

| 前期 | | 後期 | |
|--------|----------------|--------|----------------|
| 90分/コマ | | 90分/コマ | |
| 1-2 | 映画衣装 リサーチワーク | 1-2 | 上コレ |
| 3-4 | 映画衣装 マテリアルリサーチ | 3-4 | 上コレ |
| 5-6 | 映画衣装 デザインアップ | 5-6 | 上コレ |
| 7-8 | カルアーツ 特別講義ワークⅠ | 7-8 | コラボ衣装 デザインワークⅠ |
| 9-10 | カルアーツ 特別講義ワークⅡ | 9-10 | コラボ衣装 デザインワークⅡ |
| 11-12 | カルアーツ 特別講義ワークⅢ | 11-12 | コラボ衣装 デザインワークⅢ |
| 13-14 | カルアーツ 特別講義 | 13-14 | コラボ衣装 デザインワークⅣ |
| 15-16 | 劇団ワークショップ① | 15-16 | 衣装デザイン 演習Ⅰ① |
| 17-18 | 劇団ワークショップ② | 17-18 | 衣装デザイン 演習Ⅰ② |
| 19-20 | 衣装デザインワーク① | 19-20 | 衣装デザイン 演習Ⅰ③ |
| 21-22 | 衣装デザインワーク② | 21-22 | 衣装デザイン 演習Ⅱ① |
| 23-24 | 衣装デザインワーク③ | 23-24 | 衣装デザイン 演習Ⅱ② |
| 25-26 | 刺繍ワークショップ | 25-26 | 衣装デザイン 演習Ⅱ③ |
| 27-28 | 衣装デザインワーク④ | 27-28 | オペラ舞台 インターンⅠ |
| 29-30 | 衣装デザインワーク⑤ | 29-30 | オペラ舞台 インターンⅡ |

【成績評価方法】

提出物評価60% プレゼンテーション20% 授業態度20%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具・のり・はさみ・各自参考資料・画材

| | | | |
|-----|-------------------|------|---------------|
| 科目名 | ファッションドローイングⅡ | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター | 期 | 前期 |
| コース | オートクチュールコース舞台衣装専攻 | | 昼間 |
| 学年 | 3 | 授業形態 | 講義 30% 実習 70% |
| 時間数 | 60 | 作成者 | 大槻 剛 |

【科目の到達目標】

半年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】

| 前期 | | 後期 |
|--------|---------------------|----|
| 90分/コマ | | |
| 1・2 | ヌードボディの表現 | |
| 3・4 | 顔、ヘアスタイル、足、靴の表現 | |
| 5・6 | 着装表現 1(男性的ディテール表現) | |
| 7・8 | 着装表現 2(女性的ディテール表現) | |
| 9・10 | 着装表現 3(その他の応用表現) | |
| 11・12 | 画材表現 1(ガッシュの使い方) | |
| 13・14 | 画材表現 2(マーカーの使い方) | |
| 15・16 | 画材表現 3(パステルの使い方) | |
| 17・18 | アイテム画の表現 1(ボトムス) | |
| 19・20 | アイテム画の表現 2(トップス) | |
| 21・22 | メンズ表現 | |
| 23・24 | キッズ表現 | |
| 25・26 | デザイン画選手権の作品製作 1(ラフ) | |
| 27・28 | デザイン画選手権の作品製作 2(下絵) | |
| 29・30 | デザイン画選手権の作品製作 3(着色) | |

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

| | | | |
|-----|-------------------|------|---------------|
| 科目名 | コンピューター演習Ⅲ | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 前期 |
| コース | オートクチュールコース舞台衣装専攻 | | 昼間 |
| 学年 | 3 | 授業形態 | 講義 20% 実習 80% |
| 時間数 | 30 | 作成者 | 於保 可那子 |

【科目の到達目標】

ホームページの作り方を習得し、就職や、卒業後の活動の際に作成できる基礎力をつける。
イラストレーター・フォトショップの復習応用をしながら、名刺などのアイテムを作成する。

【科目の概要】

クオリティとスピードを要求されるエンターテイメントの世界において、スタートから具体的に出来上がりを伝える必要があると考える。基礎的な操作方法を固め、効率を考えた一連の知識や技術習得する。クライアントに自分の魅力が伝わり、作り手の思いや温度が伝わるポートフォリオやHPを作る。

【授業計画】

90分/コマ

| | |
|----|------------|
| 1 | ホームページ 基礎① |
| 2 | ホームページ 基礎② |
| 3 | ホームページ 基礎③ |
| 4 | ホームページ 製作① |
| 5 | ホームページ 製作② |
| 6 | ホームページ 製作③ |
| 7 | ホームページ 製作④ |
| 8 | 名刺① |
| 9 | 名刺② |
| 10 | 名刺③ |
| 11 | デザイン演習① |
| 12 | デザイン演習② |
| 13 | デザイン演習③ |
| 14 | デザイン演習④ |
| 15 | 作品提出 |

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%
以上を指導要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

【教材・教具】

データ配布 フラッシュメモリ 筆記用具 のり はさみ

| | | | |
|-----|-------------------|------|-----------------|
| 科目名 | 縫製工学 | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 後期 |
| コース | オートクチュールコース舞台衣装専攻 | | 昼間 |
| 学年 | 2年、3年 | 授業形態 | 講義 80% 小テスト 20% |
| 時間数 | 30 | 作成者 | 相馬成男 |

【科目の到達目標】

アパレル製品の企画・設計、工業生産（縫製・プレス）、出荷に至る各工程では、デザイナー、マーチャンダイザー、パタンナー、縫製担当者、生産管理者、品質管理者など多くの専門技術者・技能者が携わっており、それぞれの業務の基礎知識と技術、もの作りに対する考え方が理解できる人材育成を目指し、社会へ出て自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れることができることを目標とする。

【科目の概要】

専門学校では注文服（オートクチュール）作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服（プレタポルテ）が主流であり、工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業の役割、繊維製品の品質に関わる法律、JIS衣料サイズ、表素材・副資材の品質管理、工業パターン設計方法、縫製加工、生産工程管理・品質管理と原価計算を修得する。

【授業計画 90分/コマ】

- 第1週 ・縫製工学とは ・アパレル業と縫製加工業（Ⅰ）
- 第2週 ・アパレル業と縫製加工業（Ⅱ） ・衣服の品質に関わる法律（Ⅰ）
- 第3週 ・衣服の品質に関わる法律（Ⅱ）
- 第4週 ・JIS衣料サイズ
- 第5週 ・衣服の品質（Ⅰ）
- 第6週 ・衣服の品質（Ⅱ） ・原反検査（Ⅰ）
- 第7週 ・原反検査（Ⅱ）
- 第8週 ・副資材と付属品・・・芯地、接着芯地
- 第9週 ・副資材と付属品・・・裏地、縫い糸、ボタン、ファスナー、中入れ綿
- 第10週 ・工業用パターンと縫製仕様書 ・グレーディング
- 第11週 ・縫製準備工程
- 第12週 ・縫い目形式、工業用ミシン・縫合、工業用ミシン針
- 第13週 ・アイロン ・プレス
- 第14週 ・縫製工程の管理・・・生産システム、縫製工程表
- 第15週 ・縫製工程の管理・・・品質管理、原価計算

【成績評価方法】

- ・平常点（出席率、授業態度）・・・10%
- ・理解力（毎回の小テスト）・・・50%
- ・理解力（期末試験）・・・40%

【教科書・参考書】

- ・『縫製工学』齋藤景一郎著 2版 上田学園服飾手帖社2015年3月1日発行

【教材・教具】

- ・教科書（適宜配布資料）
- ・筆記具

| | | | |
|-----|-------------------|------|----------|
| 科目名 | 西洋美術史 | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 後期 |
| コース | オートクチュールコース舞台衣装専攻 | | 昼間 |
| 学年 | 3年 | 授業形態 | 講義 100 % |
| 時間数 | 30 | 作成者 | 高瀬博文 |

【科目の到達目標】

主として近世(ルネサンス)から現代美術に至る知識を獲得し、これまでの流れを踏まえ、その先端としての創作ができる人材を育成する。

【科目の概要】

初期ルネサンス美術から20世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。また二回に一回(30分程度)4~5人である作品について考え結論を出すというグループワークを行う。

【授業計画90分/コマ】

- 1 初期ルネサンス美術1:マザッチョ、ピエロ・デラ・フランチェスカ、ボッティチェリなど
- 2 初期ルネサンス美術2:ルネサンス美術の特徴、遠近法(透視図法)とはなにか
- 3 盛期ルネサンス1:レオナルド・ダ・ヴィンチについて
- 4 盛期ルネサンス2:ミケランジェロ、ラファエロなど
- 5 マニエリスム美術:ティントレット、ブロンズイーノなど
- 6 バロック美術:ヴェルフリンによるバロック美術解釈、ルーベンス、ベラスケスなど
- 7 ロココ美術:ロココの特徴、ヴァトー、フラゴナールなど
- 8 19世紀の美術1:新古典主義、ロマン主義
- 9 19世紀の美術2:リアリズム、マネの作品、印象主義
- 10 19世紀の美術3:後期印象主義、世紀末美術
- 11 古代~中世の美術1
- 12 古代~中世の美術2
- 13 20世紀の美術1:キュビズム、ダダイズム、シュルレアリスムなど
- 14 20世紀の美術2:第二次世界大戦後の美術
- 15 全体のまとめ、テスト問題の傾向

【成績評価方法】

平常点(演習問題、グループワーク、授業態度など)50%、テスト(期末一回)50%で評価を行う

【教材・教具】

教科書:千足伸行監修 『新西洋美術史』(西村書店)

【教材・教具】